



平成22年9月定例会

# 大館市議会会議録（第4号）

自 平成22年8月31日 開会  
至 平成22年9月16日 閉会

大 館 市 議 会

8月31日（火曜日）

第1日目

---

平成22年 8月31日（火曜日）

---

## 議事日程第1号

平成22年 8月31日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

---

## 本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案等の上程

1. 認定第1号 平成21年度大館市、北秋田市、北秋田郡地域視聴覚教育協議会会計歳入歳出決算の認定について
2. 議案第99号 大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案
3. 議案第100号 市道路線の廃止について（第二中学校線）
4. 議案第101号 市道路線の認定について（二中長面袋線外1路線）
5. 議案第102号 大館市過疎地域自立促進計画の策定について
6. 議案第103号 平成22年度大館市一般会計補正予算（第3号）案
7. 議案第104号 平成22年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案
8. 議案第105号 平成22年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案
9. 議案第106号 平成22年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第1号）案
10. 議案第107号 平成22年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第1号）案
11. 議案第108号 平成22年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）案
12. 議案第109号 平成22年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案
13. 議案第110号 平成22年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第1号）案
14. 議案第111号 平成22年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第2号）案
15. 議案第112号 平成22年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案

16. 議案第113号 平成22年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案  
 17. 議案第114号 平成22年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案  
 18. 議案第115号 平成22年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案

出席議員（27名）

|     |         |     |         |
|-----|---------|-----|---------|
| 1番  | 小棚木 政之君 | 2番  | 武田 晋君   |
| 3番  | 佐藤 照雄君  | 4番  | 小畑 淳君   |
| 5番  | 佐藤 一秀君  | 6番  | 中村 弘美君  |
| 7番  | 畠 沢 一郎君 | 8番  | 伊藤 毅君   |
| 9番  | 藤原 明君   | 10番 | 千葉 倉男君  |
| 11番 | 佐藤 久勝君  | 12番 | 仲沢 誠也君  |
| 14番 | 石田 雅男君  | 15番 | 虻川 久崇君  |
| 16番 | 藤原 美佐保君 | 17番 | 笹島 愛子君  |
| 18番 | 明石 宏康君  | 19番 | 吉原 正君   |
| 20番 | 佐々木 公司君 | 22番 | 安部 貞榮君  |
| 23番 | 八木橋 雅孝君 | 24番 | 田中 耕太郎君 |
| 25番 | 田畑 稔君   | 26番 | 富樫 安民君  |
| 27番 | 相馬 エミ子君 | 29番 | 奥村 隆俊君  |
| 30番 | 斉藤 則幸君  |     |         |

欠席議員（1名）

28番 高橋 松治君

欠 員（2名）

説明のため出席した者

|             |   |          |
|-------------|---|----------|
| 市           | 長 | 小畑 元君    |
| 副 市         | 長 | 長 岐 利 堅君 |
| 副 市         | 長 | 吉 田 光 明君 |
| 総 務 部       | 長 | 花 田 鉄 男君 |
| 総 務 課       | 長 | 阿 部 徹 君  |
| 総 務 課 長 補 佐 |   | 本 多 恒 博君 |
| 財 政 課       | 長 | 芳 賀 利 彦君 |
| 市 民 部       | 長 | 斎 藤 まき子君 |

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 産 業 部 長           | 木 村 勝 広 君   |
| 建 設 部 長           | 丸 屋 義 明 君   |
| 比 内 総 合 支 所 長     | 羽 賀 一 雄 君   |
| 田 代 総 合 支 所 長     | 吉 田 充 君     |
| 会 計 管 理 者         | 金 賢 隆 君     |
| 病 院 事 業 管 理 者     | 佐々木 睦 男 君   |
| 市立総合病院事務局長        | 明 石 和 夫 君   |
| 消 防 長             | 石 井 直 文 君   |
| 教 育 長             | 高 橋 善 之 君   |
| 教 育 次 長           | 大 友 隆 彦 君   |
| 選挙管理委員会事務局長       | 戸 田 恒 夫 君   |
| 農 業 委 員 会 事 務 局 長 | 奈 良 明 彦 君   |
| 監 査 委 員           | 山 本 貢 君     |
| 監 査 委 員           | 中 村 弘 美 君   |
| 監 査 委 員 事 務 局 長   | 田 村 喜 美 雄 君 |

---

事務局職員出席者

|         |           |
|---------|-----------|
| 事 務 局 長 | 渡 部 清 美 君 |
| 次 長     | 豊 田 耕 司 君 |
| 係 長     | 笹 谷 能 正 君 |
| 主 査     | 若 松 健 寿 君 |
| 主 査     | 金 一 智 君   |
| 主 任     | 佐々木 仁 君   |

---

---

## 午前10時00分 開 会

- 議長（石田雅男君） これより、平成22年9月大館市議会定例会を開会いたします。  
出席議員は定足数に達しております。  
よって、直ちに本日の会議を開きます。  
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。  
諸般の報告は、お手元に配付してあります文書により御了承願います。

---

---

### 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（石田雅男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
本定例会の会議録署名議員は、16番 藤原美佐保君、17番 笹島愛子君、18番 明石宏康君を指名いたします。

---

---

### 日程第2 会期の決定

- 議長（石田雅男君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本定例会の会期は、本日から9月16日までの17日間と定めたいと思います。  
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（石田雅男君） 御異議なしと認めます。  
よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。  
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付してあります日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。

---

---

### 日程第3 議案等の上程

- 議長（石田雅男君） 日程第3、議案等の上程を行います。  
認定第1号、及び議案第99号から同第115号までの以上18件を一括上程いたします。  
提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

- 市長（小畑 元君） 9月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、6月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

#### 1、7月の大雨による被害状況等について。

去る7月24日、局地的な大雨により猿間地区で土砂災害発生危険性が高まったことから、市では同日夜に1世帯への避難指示と2世帯への避難勧告を発するとともに災害警戒対策室を

設置し現場の監視と警戒に当たり、翌朝にシート張り工や大型土のう設置などの応急措置を講じた後、避難指示等を解除いたしました。県ではこの区域を急傾斜地崩壊危険区域として本年度内にその一部について対策工事を実施する予定としております。また、7月30日には前日からの雨に加え当日も強い雨が断続的に降り続き、降り始めからの雨量が130ミリメートルを超え、各地で被害が発生しました。被害状況は住家の床下浸水9棟、非住家の浸水8棟、道路の損壊等16カ所、河川の護岸決壊等9カ所、農地・農業用施設の損壊等21カ所、林道の損壊等30カ所などとなっております。また、田畑の冠水も7.2ヘクタールに上りましたが、冠水時間が短かったため大きな被害には至りませんでした。これらの復旧等に要する費用は1億円ほどを見込んでおり、今後精査の上、本定例会に関係予算を追加提案させていただく予定でありますので、よろしくお願い申し上げます。

## 2、小泉地区における携帯電話通信の接続について。

N T T ドコモ東北支社の御協力により携帯電話の不感解消に向け、昨年10月から小泉地区内に基地局を建設し光ファイバー伝送路を整備してまいりましたところ、このたび完成し今月10日から携帯電話が使用できるようになりました。この事業により小泉地区の皆様はもとより国道285号の利用者にとっても利便性が向上するとともに、災害時の通信手段の確保という点からも事業効果が期待されます。

## 3、平成21年度の市税等の収納状況と未収債権対策について。

一般市税は、現年度分が調定額の落ち込みにより、収納額は前年度比3億3,207万円減の79億5,652万円で、収納率は前年度を0.04ポイント下回る97.97%となり、滞納繰越分は滞納処分の強化により収納率が前年度実績を大きく上回ったものの、これらを合わせた未収残高は前年度より6,097万円増加し、6億7,233万円となっております。また、国保税は、現年度分の収納額が前年度比4,790万円減の15億160万円で、収納率は前年度を0.22ポイント上回る92.55%となりましたが、滞納繰越分を合わせた未収残高は前年度比924万円増の6億7,405万円となっております。市税等の滞納対策につきましては、休日納付・相談窓口を開設しており、悪質な滞納者に対しては不動産や債権のほか動産等の差し押さえも行き、これらの換価には従来からの入札による公売に加えインターネット公売も実施しており、速報値ではありますが本市の現年度分の収納率は県内13市中、一般税・国保税とも3番目に高い率となっております。一方、税外収入金の一般会計・特別会計を合わせた現年度分収納率は前年度を0.08ポイント下回る98.65%で、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度比522万円増の1億296万円となっております。また、企業会計の現年度分収納率は前年度を0.23ポイント下回る96.36%で、滞納繰越分を合わせた未収残高は前年度比417万円増の2億6,206万円となっております。今後も市の債権全体についてきめ細かな納付指導を行うとともに、必要な場合には支払督促制度を活用した強制徴収と滞納処分を行うなどし、新規滞納の抑制、滞納繰越額の圧縮を推し進め、未収債権の整理に努めてまいります。

#### 4、大館市環境マネジメントシステムの登録維持について。

I S O 1 4 0 0 1 規格に基づく本システムにつきましては8月11日からの2日間、審査登録機関によるサーベイランスとシステムの適用範囲拡大に伴う臨時審査を受審しました。審査員からは公共施設へのペレットストーブの大量導入、有浦保育園改築時のリサイクル製品の活用など環境配慮型の整備を積極的に行っていること、また、自然のみならず産業等を含む本市の状況全体を環境ととらえ、これを次世代に引き継ぐために限界集落対策や中心市街地活性化対策に取り組むなど本システムを施策全体に活用している点について高い評価をいただき、登録判定委員会においてもI S O規格に適合しているとの判定を受けております。今後も環境へのプラス面を重視したシステムの構築を図りながら、市の施策・事業における継続的改善と効率化を一層進めてまいります。

#### 5、農作物の生育状況等について。

7月8日の突風・降ひょうにより釈迦内長面地区の枝豆とキュウリの一部に被害が確認され、また、7月30日の大雨により田畑7.2ヘクタールが冠水しましたが、いずれも大きな影響はありませんでした。水稻は6月から7月にかけての高温多湿な天候により葉いもち病が昨年より多く発生したことから、コメ通信を活用しながら病虫害防除の徹底や気象変動に応じた湛水管理について呼びかけてきたところ、7月下旬からさらに高温の状態が続いたこともあり、いもち病の進行は抑えられております。出穂盛期は8月1日と平年より4日早く、穂ぞろい・登熟もおおむね良好に推移しておりますが、草丈が長く倒伏が懸念されます。また、本年度から実施される米戸別所得補償モデル事業につきましては、個人1,914件、法人5件、集落営農16件、合計1,935件の加入申請があり、作付面積は3,270ヘクタールとなりました。次に、野菜につきましては7月の長雨により各作物とも品質低下が見られましたが、その後の好天により回復基調にあり、病虫害の発生は平年より少なくなっております。主な品目では、枝豆は平年より2日早い7月22日から出荷が始まり品質もよく収量も順調であります。また、価格面で苦戦しております。また、アスパラガスは春先の低温で収穫時期がおくれましたが、平年の出荷量に近づいております。昨年から新規作物として栽培している小玉スイカは11戸の農家が昨年の約3倍の1.6ヘクタールで作付し、8月3日から大阪市場を中心に出荷が始まりました。果樹は春先の低温の影響がありましたが、ナシ・リンゴとも果実肥大は平年並みに回復しております。

#### 6、大館市土地改良区合併予備契約の締結について。

下川沿・釈迦内・花矢・大館の4土地改良区の合併につきましては、昨年6月に設立された大館市土地改良区統合整備推進協議会において協議が進められていたところ、今月20日に県や4土地改良区の役員など多数の方々に御臨席いただき、合併予備契約調印式を無事終了することができました。今後は各土地改良区の合併総代会の議決を経て、来年1月をめどに県知事の合併認可を受け、大館市土地改良区が正式に誕生する運びとなります。新土地改良区は合併により基盤強化が図られ、生産基盤の整備や管理を通じて農業の発展と地域環境の保全に寄与す

るものと期待しております。

#### 7、学校緑化事業の実施について。

大館市国土緑化推進委員会では、昨年から植樹祭にかえて学校に緑をふやす植樹活動を行っており、去る6月25日に城西小学校と共同で第2回目の学校緑化事業を実施しました。当日は天候に恵まれ、城西小学校の全児童を初めとして約450人の参加をいただき、グラウンドのフィールド部分800平方メートルに芝生苗を植えつけしました。苗を寄贈いただきましたエコシステム秋田株式会社を初め、笹谷建設株式会社、大館北秋田森林組合、地元の皆様の御協力に対し改めてお礼申し上げます。

#### 8、地域づくり協働推進支援事業について。

初年度となった本年は7月5日から30日までの応募期間に59団体から応募があり、本事業への関心の高さと市民の地域活性化への熱意を改めて感じたところであります。応募事業の内容は、地域資源を活用した特産品づくりやコミュニティービジネスの立ち上げ、伝統芸能の保存など、いずれも地域の将来を見据えたものでありました。応募事業の審査は8月11日に開催した地域づくり協働推進会議において行い、事業の必要性・計画性・継続性などを総合的に審査し、42団体の事業を採択することとしました。住民みずからのアイデアと熱意による地域活動が各地域はもとより市全体の活性化にもつながっていくものと期待しており、採択団体に対しては地域づくり計画の策定に向け全庁体制で支援するとともに、今回、残念ながら不採択となった団体についても来年度の再応募に向けバックアップしてまいりたいと考えております。

#### 9、地域おこし協力隊について。

市では地域活性化対策の一環として国の地域おこし協力隊推進事業を活用し、大葛地区への協力隊員受け入れに取り組んでまいりたいと考えております。協力隊員は首都圏などの都市部にお住まいの方が大葛地区に移住し、市の臨時職員として農業や農産物加工業等への従事、高齢者の暮らしサポート、地域活動や地域行事への応援などを行っていただくものであります。地域の新たな担い手として地域力の維持・強化に向け活躍していただきたいと思っておりますが、雇用期間が最長3年間となっていることから、市では終了後も引き続き定住していただけるようサポートしてまいりたいと考えております。協力隊員の募集は9月17日から10月20日までの期間、移住・交流推進機構、首都圏のハローワーク、渋谷就労支援センターしぶやビッテなどを通じて行い、ラジオ放送等を利用したPRを含め幅広く周知してまいりたいと考えており、また、面接は千代田区のゼロダテアートセンター東京で行うこととしております。本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

#### 10、雇用対策について。

本年7月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は0.44倍と前月比でプラス0.01ポイント、昨年同期比でプラス0.1ポイントと若干上向き傾向を示しておりますが、エコカー補助金・エコポイント制度の終了を控えているほか円高の進行などもあり、予断を許さない状況にありま

す。このような中、市では緊急雇用創出臨時対策基金を活用し、3歳未満児の保育事業や市内遺跡発掘調査記録及び出土品整理事業など新たに5事業を企画いたしました。これによりさらに30人の雇用が創出され、本年度の市の雇用対策事業による雇用者数はふるさと雇用再生臨時対策基金事業と合わせ50事業210人となる見込みであります。本定例会にこれらの関連予算を計上しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。次に、市が大館市雇用創造協議会に委託して実施しております人材育成事業であります。既に接客向上・観光案内・ラッピングに関する3講座を実施し合わせて75人が受講しており、今後はCAD講習・ブログ活用など6つのセミナーの開催に向け準備を進めております。また、来年3月の市内高校卒業予定者の就職動向につきましては就職希望者234人のうち108人が県内就職を希望している状況であり、市では希望者全員が県内就職できるよう地元企業からの早期求人の働きかけを行っているところであります。

#### 11、大館能代空港の利用促進について。

本年4月以降の空港利用状況は昨年同期と比べ若干よくなっているものの、東京便で5割台、大阪便では4割台と依然低迷しております。県では6月に大館能代空港の利用促進のため約3,900万円を予算化し、千円レンタカー事業や冬季欠航時アクセスバス・タクシー運行事業など、いわゆるインをねらった4つの事業を大館能代空港利用促進協議会に委託することとしました。協議会ではこれらの事業を順次実施するとともに、既存予算を地元の利用促進、いわゆるアウト事業にシフトさせ、空港ファンクラブの拡充と活用や首都圏旅行プランへの助成などに取り組んでいるところであります。大館能代空港の利用促進につきましては、去る8月18日に開催された秋田県・市町村協働政策協議会北地域会においても喫緊の課題として協議され、引き続き県と関係市町村が一体となって取り組んでいくことを確認したところでありますので、よろしく御理解・御協力をお願い申し上げます。

#### 12、夏季イベントの開催について。

##### (1)大館バラまつりについて。

天候の影響により会期を1週間延長しましたが、6月5日からの23日間で昨年と同じ3万3,000人の来場者を迎えることができました。600種700株のバラを鑑賞できる施設は非常に珍しく、県外から訪れる方も多くなっております。来年は青森デスティネーションキャンペーンの開催時期と重なることもあり、本市の名所としてさらにPRに努めてまいります。

##### (2)大館大文字まつりについて。

8月16日に開催した第43回大館大文字まつりは、花火大会と大文字焼きを中心に小学校ゴールデンパレード・大文字おどり・燈籠流しなどの恒例行事に加え、ゼロダテ大館展2010の開催もあり、市民や帰省客ら6万6,000人の人出でにぎわいました。

##### (3)大鮎の里ふるさとまつりについて。

8月21日、第45回大鮎の里ふるさとまつりが外川原地区米代川河川緑地公園で開催され、昼

は大鮎の千匹焼きやイワナのつかみ取り、夜は盆踊りや花火の打ち上げと多彩なイベントが行われ、多くの市民でにぎわいました。

#### (4)ゼロダテ大館展2010の開催について。

4年目となったことしは8月12日からの6日間、会場を大館駅から御成町・栄町・田町・大町商店街までとし、これまでで最も大規模な開催となりました。今回初めて作品を公募した商店街美術展ゼロ展では営業中の店舗を含む69カ所にジャンルを超えたさまざまな作品が展示されるとともに、旧オナリ座を使用した映画上映やコンサートなどが毎日開催され、市民の皆様を初め帰省客など大勢の方が楽しまれました。開催に携わった実行委員や市民ボランティアの皆様には改めて感謝申し上げます。

#### 13、体験型観光の受け入れ等について。

本年は5月下旬から6月上旬にかけて札幌市内の中学校5校、合わせて730人が訪れ、きりたんぼづくりや田植え等の体験学習を行っており、来年については既に6校から予約が寄せられ、900人規模の見込みとなっております。市ではグリーンツーリズムに本市ならではのさまざまな体験メニューを加えた新たな体験型観光コースの確立と受け入れ態勢の充実に向け関連団体による大館市まるごと体験推進協議会を立ち上げ、7月末から8月にかけて札幌の各中学校や旅行エージェントへの訪問活動を行うとともに、先進地である福島県喜多方市での研修を実施したところであります。今後、受け入れ窓口を本協議会に一本化し体験型観光による誘客を推進してまいりたいと考えております。

#### 14、大町地区優良建築物等整備事業の工事着手について。

本事業につきましては建築確認済証が交付され、また、国・県補助金の交付決定を受けて市も補助金の交付決定をしたことから、事業主体である大館都市開発株式会社では建設工事の入札を経て請負業者との契約を終えております。去る8月7日には、建設予定地において地鎮祭と工事安全祈願祭がとり行われ、来年4月1日の供用開始を目指して工事に着手されております。完成後は1階がテナント2店舗と公衆トイレ、2階から6階までは1LDK10戸、2LDK15戸、3LDK5戸、合計30戸の賃貸住宅となり、住宅部分はすべて市が借り上げる予定としております。この事業はまちなか居住の推進による中心市街地活性化を図るための大きな第一歩となる事業であり、今後とも皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

#### 15、旧正札竹村新館B棟1階への県関連施設の入居について。

旧正札竹村の利活用計画につきましては庁内に専門会議を設置しながら検討しているところではありますが、このたび県から（仮称）県北生活相談センター及び（仮称）起業支援室の本市への設置について打診があり、協議の結果、県では旧正札竹村新館B棟1階への開設を決定しております。（仮称）県北生活相談センターは商品やサービスにかかわる契約についての疑問や消費者トラブル・多重債務問題などに関する相談業務を行う施設として、また、（仮称）起業支援室は創業・企業化や新たな事業分野への進出等を目指す意欲的な企業に事務室を提供す

る施設としてそれぞれ秋田市内に次いで県北にも設置しようとするものであります。市としてはこれらの施設の設置により市民生活の安全・安心の確保や地域雇用の創出、また、中心市街地の活性化にもつながることから、可能な限り協力したいと考えているところであり、本定例会にこれら施設の設置にかかわる予算を計上しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

#### 16、平成22年度成人式について。

去る8月15日、市民文化会館におきまして平成22年度成人式が盛大に行われ、本年度からすべて平成生まれとなった対象者の約80%に当たる637人が参加いたしました。当日は厳かな中にも和やかな雰囲気での式典であり、新成人代表からは「社会の一員としての自覚を持ち、主体性を持ってその務めを果たしたい」との力強い決意が述べられ、式典後は恩師や旧友との再会を喜び近況を報告し合う姿が見られました。市議会議長・議員を初め、恩師の方々など御来賓の皆様にはお忙しい中を御出席いただき、新成人を激励・祝福していただきましたことに改めてお礼を申し上げます。

#### 17、市立病院広報の創刊について。

8月1日付で総合病院・扇田病院の両市立病院の広報誌おおだて病院だよりを創刊し、全世帯に配布いたしました。この広報誌は市立病院における質の高い医療サービスの提供に向けた日々の取り組みや病院に関するさまざまな情報を広くお知らせし、また、病診・病病連携を進めていく上での市民の皆様との情報共有の場として活用したいと思っております。次回の発行は12月とし、来年度以降は年4回の発行を予定しており、市民の皆様の声が反映される広報誌にしていきたいと思います。

#### 18、市立総合病院のエックス線CT装置の更新について。

県の地域医療再生計画による救急医療体制整備事業を活用して導入を進めてまいりました総合病院の64列マルチスライス・エックス線CT装置につきましては、このほどCT装置本体のほか画像配信システムの設置などが完了し、8月30日から稼働しております。新しいCT装置は従来と比べ撮影時間が大幅に短縮されることから、患者さんの肉体的・精神的負担が軽減され、また、画像のデータ化による配信システムの導入により体内の微細な構造を鮮明な画像で即座に確認することができ、さまざまな病気の早期発見・早期治療や治療効果の判定などにこれまで以上に貢献できるものと期待しております。

#### 19、公共事業の進捗状況について。

本年度の公共事業の発注率については上半期までに85%以上を目標としており、おおむね達成できる見込みで推移しております。さて、主な事業の進捗状況であります。福祉関連では有浦保育園改築事業で旧有浦保育園の解体工事が7月に終了し、8月下旬から改築工事を行っております。道路関連では二井田片貝沼田線・釈迦内松木立花線・新町長根山線などの工事を行っており、現在の進捗率は30%であります。農業集落排水事業では独鈷中野地区で昨年施行

した箇所の路面復旧と処理施設の場内整備工事を行っており、進捗率は17%となっております。教育関連では桂城小学校耐震補強工事の進捗率は繰り越し分を含め90%、田代中学校の耐震補強工事の進捗率は90%となっております。また、第一中学校武道場新築事業については6月に発注し進捗率は50%となっております。水道事業では柄沢字狐台地内の配水管布設替工事を6月に発注し進捗率は25%、池内道上地内の配水管布設替工事を7月に発注し進捗率は10%となっております。下水道事業では大館地域の中道二丁目・有浦一丁目ほかで管路延長6,629メートル、比内地域の下味噌内で626メートル、また、田代地域の茂屋で620メートルの本管理設工事を施行中であり、進捗率は平均5%となっております。

## 20、養豚企業の進出について。

市では平成20年に設置促進条例を制定し、畜産農業施設等の誘致活動を展開してまいりましたところ、昨日、株式会社シムコから正式に本市への進出を決定したとの連絡がありました。同社は伊藤忠商事株式会社のグループ企業である伊藤忠飼料株式会社の子会社であり、全国で優秀な種豚を生産している会社であります。進出の内容は、種豚の元となる原原種豚を保存育成する農場、いわゆるGGP農場を早口字菅谷地地内で操業し年間出荷数約7,000頭、総事業費は約5億9,000万円、新規雇用者数は操業開始時5人、将来的には9人を見込んでいます。具体的なスケジュールについては未定であります。9月中に地権者・地元町内会などの関係者に対し同社が説明会等を行い、企業進出に対する理解と協力を求めていくことになるものと思っております。今後、市では同社に対しさまざまな支援を行いながら来年度の操業実現を目指すとともに、雨池地区に進出を予定している他の企業についても引き続き誘致活動を推進してまいります。

続きまして、提出いたしました議案等につきまして主な内容を御説明申し上げます。

**認定第1号**は、平成21年度大館市、北秋田市、北秋田郡地域視聴覚教育協議会会計歳入歳出決算の認定についてであります。

これは、本年3月31日をもって廃止しました大館市、北秋田市、北秋田郡地域視聴覚教育協議会の平成21年度歳入歳出決算につきまして、同協議会規約第26条第2項の規定により監査委員の意見をつけて議会の認定を求めるものであります。

**議案第99号**は、大館市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、国のがん診療連携拠点病院の整備に関する指針に基づき、主治医以外の医師から意見を聞くことができるセカンドオピニオン外来を本年10月から市立総合病院に設置することに伴い、相談料を条例に規定するとともに一部条文の整備をしようとするものであります。

**議案第100号**は、市道路線の廃止についてであります。

これは、市道路線の終点に変更が生じたため、この路線を廃止しようとするものであります。

**議案第101号**は、市道路線の認定についてであります。

これは、道路改良計画に基づく道路の築造に伴い終点に変更が生じた道路及び生活関連道路を市道に認定し管理しようとするものであります。

**議案第102号**は、大館市過疎地域自立促進計画の策定についてであります。

これは、過疎地域自立促進特別措置法の一部が改正され法律の有効期限が延長されたこと等に伴い、本市におきましても引き続き地域の自立促進のために実効性のある施策を総合的かつ計画的に講じていく必要があることから、平成27年度末までを期間とする新たな過疎地域自立促進計画を策定しようとするものであります。

**議案第103号**は、平成22年度大館市一般会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正は7億1,637万円の追加で、補正後の予算総額は311億1,969万1,000円となる見込みであります。まず、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、地方交付税で普通交付税に1億7,116万4,000円を追加。国庫支出金では電波遮へい対策事業費補助金に1,010万6,000円を追加。県支出金では、ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業交付金に2,174万3,000円を追加、来年度に執行される県議会議員一般選挙の本年度分の委託金として1,136万6,000円を計上。繰越金に3億294万円を追加。諸収入では介護保険特別会計の前年度精算金として2,734万7,000円を計上。市債では農業農村整備事業債に9,460万円を追加したものであります。

次に、歳出の主な内容について申し上げますと、総務費では、情報政策費に西大館地区のテレビ共聴施設設置事業費補助金として1,109万3,000円を追加、選挙費では、来年度の選挙執行に要する本年度分の経費として県議会議員一般選挙費1,137万2,000円、市長・市議会議員一般選挙費2,081万9,000円をそれぞれ計上。民生費では、保育園費に認定保育施設への保育事業委託料1,153万円、児童扶養手当費では法改正に伴い父子家庭に対する扶助費2,010万6,000円をそれぞれ計上。衛生費では予防接種費に日本脳炎及びインフルエンザワクチン接種委託料として1,793万4,000円を追加。農林水産業費ではコンポストセンター管理費に施設の大規模改修費として9,965万円を計上。土木費では、除雪経費に3億1,984万4,000円を計上、まちづくり事業費に旧正札竹村新館棟改修工事費などで2,591万1,000円を追加。消防費では比内分署の消防ポンプ自動車購入費として3,009万4,000円を計上。教育費では大館町割400年記念事業費159万2,000円を計上しております。なお、緊急雇用創出臨時対策基金事業につきましては5事業合わせて2,174万3,000円を追加しております。

また、第2条第2表にコンピューターリース料に係る債務負担行為の追加を、さらに、第3条第3表(1)にまちづくり事業に係る地方債の追加を、同表(2)には農業農村整備事業など3件に係る地方債の限度額の変更をお願いしております。

議案第104号から議案第112号までの9件は、平成22年度大館市の各特別会計における補正予算案であります。

**議案第104号**は、平成22年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は国民健康保険事業の前年度の精算等に伴うもので、歳入・歳出とも1億2,363万

7,000円を追加し、補正後の予算総額は92億8,287万7,000円となる見込みであります。

**議案第105号**は、平成22年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は介護保険事業の前年度の精算等に伴うもので、歳入・歳出とも2億6,212万3,000円を追加し、補正後の予算総額は78億7,286万円となる見込みであります。

また、第2条第2表にコンピュータリース料に係る債務負担行為の変更をお願いしております。

**議案第106号**は、平成22年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は136万円の追加で、補正後の予算総額は3,998万4,000円となる見込みであります。

**議案第107号**は、平成22年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は14万1,000円の追加で、補正後の予算総額は6,628万円となる見込みであります。

**議案第108号**は、平成22年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は101万9,000円の追加で、補正後の予算総額は1,429万2,000円となる見込みであります。

**議案第109号**は、平成22年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正額は110万円の追加で、補正後の予算総額は5億2,576万1,000円となる見込みであります。

また、第2条第2表に農業集落排水事業に係る地方債の限度額の変更をお願いしております。

**議案第110号**は、平成22年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は554万1,000円の追加で、補正後の予算総額は1,918万3,000円となる見込みであります。

**議案第111号**は、平成22年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は国の補助内示に伴う財源の組み替えや補償調査委託料の追加などによるもので、歳入・歳出とも426万2,000円を追加し、補正後の予算総額は5億1,950万7,000円となる見込みであります。

また、第2条第2表に都市計画事業に係る地方債の限度額の変更をお願いしております。

**議案第112号**は、平成22年度大館市財産区特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正額は片山及び立花の2財産区勘定合わせて235万4,000円の追加で、補正後の予算総額は2財産区勘定で2,143万7,000円となる見込みであります。

**議案第113号**は、平成22年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、主な内容を申し上げますと、委託料及び手数料を571万4,000円減額し、給配水管漏水修繕費等に1,970万円、職員給与費に386万9,000円をそれぞれ追加し、補正後の支出総額は12億9,233万6,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。同じく支出のみの補正で、職員給与費を84万5,000円減額し、補正後の支出総額は6億2,530万2,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に議会の議決を経なければ流用することのできない経費につきまして変更をお願いしております

**議案第114号**は、平成22年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では消費税及び地方消費税還付金に3万9,000円を追加し、補正後の総額は12億673万2,000円となる見込みであります。支出では職員給与費に781万3,000円を追加するなど、補正後の総額は13億8,317万5,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債に1,060万円を追加し、補正後の総額は12億5,708万8,000円となる見込みであります。また、支出では職員給与費を79万2,000円減額し、補正後の総額は17億2,238万1,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に企業債、第5条に議会の議決を経なければ流用することのできない経費につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

**議案第115号**は、平成22年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、給与費に3,494万円、経費に1,943万3,000円を追加し、補正後の支出総額は106億7,497万3,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債に380万円を追加し、補正後の総額は8億3,796万2,000円となる見込みであります。支出では、施設設備整備事業費に770万9,000円、情報システム整備事業費に210万1,000円をそれぞれ追加し、補正後の総額は11億8,126万2,000円となる見込みであります。

このほか、第4条に債務負担行為の追加を、また、第5条に企業債、第6条に議会の議決を経なければ流用することのできない経費につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

---

○議長（石田雅男君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。  
御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石田雅男君） なしと認め、質疑を終結いたします。

---

○議長（石田雅男君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、9月6日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時47分 散 会

---